

協議事項(2) スワン号の運行について

1 主旨

スワン号の実証運行については、平成30年12月から開始され、3年以上が経過しました。長らく続いた新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつある中、令和5年2月、現在の運行手法及び見直しの方向性について確認するための、地区の方を対象とした、スワン号の運行見直しに係るアンケート調査を実施いたしました。本協議事項につきましては、実施したアンケートの集計結果のご報告と、今後の方針を含めた実証実験としての総括について、ご審議いただくものです。

2 スワン号運行事業の経緯

■平成30年12月1日

交通不便地域である旧本埜第二小学校周辺地域への対応として、定時定路線型とデマンド型の併用による乗合タクシー「スワン号」の実証運行開始

■令和元年10月1日

実証運行の課題等を踏まえ、見直しを実施

- ・利用者増を目指し、定時定路線型のルート変更及びダイヤ改正、デマンド型を1日3便から4便に増便
- ・旧本埜第二小学校周辺地域での乗車または降車が必要とする利用条件を撤廃

■現状

- ・利用者数については、前年度に比べると多少伸びているものの、引き続き非常に少ない状況となっています。
- ・新型コロナウイルス感染症流行の期間については、適正な総括ができないと判

断し、終息を待って、総括を行うこととしていました。

3 アンケートの内容について

2実施したアンケートについては、スワン号の見直しの方向性について確認するための調査を行いました。アンケートの内容については、以下の通りです。

- ・平成30年度から令和3年度までの、各年度ごとのスワン号利用実績人数の報告
- ・アンケート回答者の属性、利用の状況、利用の目的、今後の方向性についての意見に対する設問
- ・自由意見欄

4 スワン号の実証運行の総括(案)について

- ・利用者数の状況及び実施したアンケート調査の結果を踏まえ、交通不便地域の新たな対応策の具体的な内容について次回以降の交通会議において検討します。
- ・現在のスワン号の実証運行については、令和5年9月30日を目途に、新たな対応策の決定及び実施を以て、休止とします。

スワン号の運行見直しに係るアンケート調査

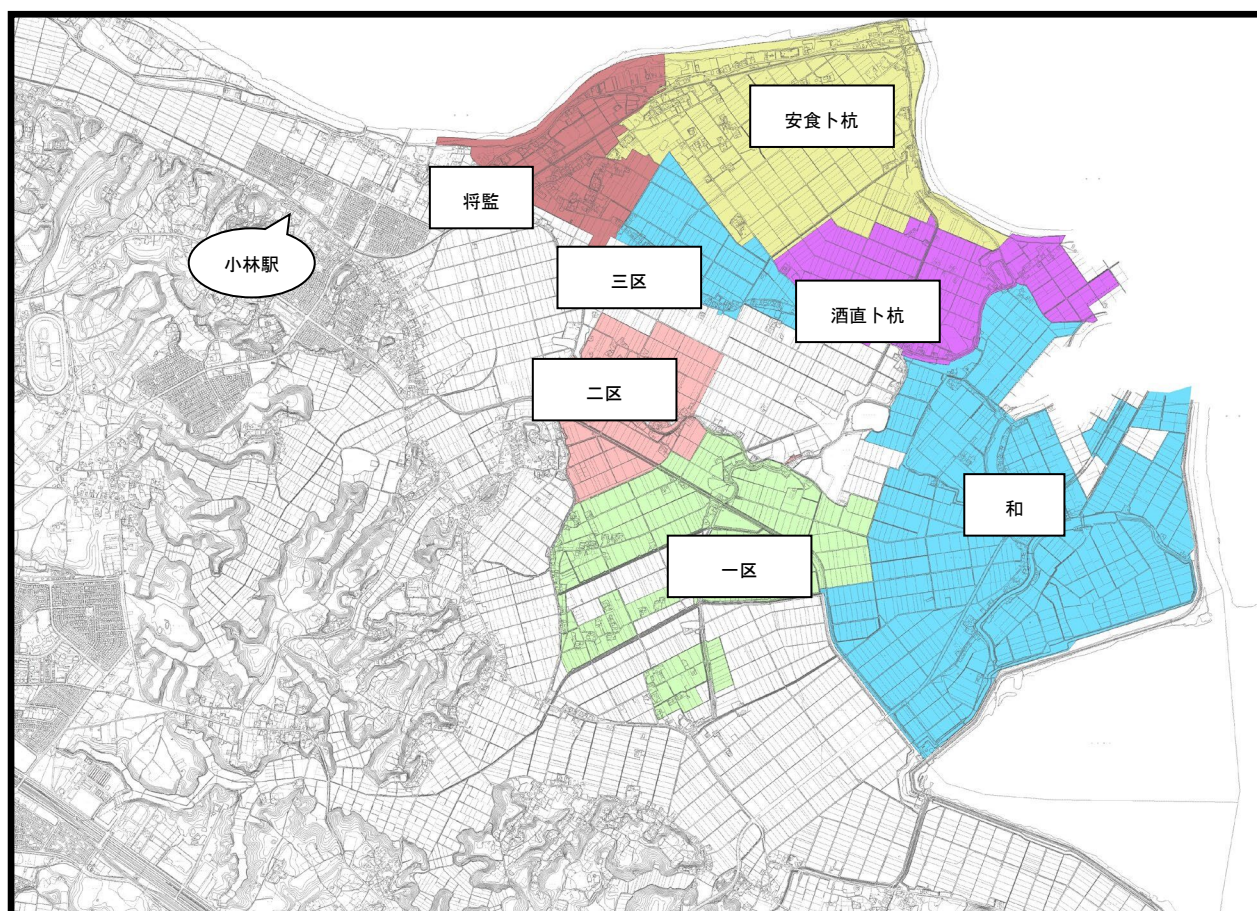
1. スワン号の見直しの方向性について確認するための、地区の方を対象とした、スワン号の運行見直しに係るアンケート調査の実施
2. 調査対象地域 旧本埜第二小学校周辺の地域
3. 調査対象区域 下記町内会・自治会・区

No.	町内会・自治会・区	世帯数	班数	構成字
1	一 区	64	4	行 徳
				下 曾 根
				中
2	二 区	43	5	萩 埜
				押 付
				佐 野 屋 和 泉 屋
3	三 区	49	5	松 木
				中 田 切
				下 井
4	和 区	61	5	長 門 屋
				下 井
5	酒直卜杭自治会	29	4	酒直卜杭
6	安食卜杭自治会	83	6	安食卜杭
7	将 監 自 治 会	39	5	将 監
調査対象計		368	34	

4. 調査期間（予定）

令和5年1月下旬から令和5年2月中旬まで

参考 アンケート調査地区概要図



スワン号（乗合タクシー）に関するアンケート調査のお願い

「スワン号」につきましては、本埜第二小学校周辺地域の交通移動手段の一つとなるよう、アンケート調査などにより地域の皆様のご意見を伺いながら、平成30年12月より実証運行を開始したところでございます。令和元年10月1日にルートの見直し及びダイヤ改正、日中のデマンド型の便数を3便から4便へ増便を行い、利用条件の緩和も実施いたしました。その後、長期にわたる新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、現在に至ります。

さて、運行開始より約4年が経過した現在、今後のスワン号の運行方法について、見直しの参考とするため、地区の皆様にご協力をお願いいたします。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査の結果につきましては、統計的に処理し他の目的には一切使用しません。

令和5年2月

印西市企画財政部
交通政策課

ご記入にあたってのお願い

※ご回答は、お一人につき1枚の調査票をお使いいただき、
調査票の設問ごとに、該当する番号に○をつけるか、必要事項をご記入ください。

※ご回答いただいた調査票は、

回答用封筒にお入れいただくようお願いいたします。

※アンケートの内容などにご不明な点がございましたら、
下記までお問い合わせください。

【アンケートに関するお問い合わせ】

印西市企画財政部交通政策課地域交通係

電話：33-4457



※本調査表は、旧本埜第二小学校周辺地区にお住まいの皆様にお配りしています。

参考：スワン号利用実績人数(H30～R3)

【平成30年度】 市負担額：4,700,000円 ※(運行開始時の平成30年12月～平成31年3月までの実績)

月	定時定路線	デマンド	計	1日あたり人数
計	92	72	164	1.4人/日

【令和元年度】 市負担額：14,200,215円

月	定時定路線	デマンド	計	1日あたり人数
計	140	153	293	0.8人/日

【令和2年度】 市負担額：14,309,900円

月	定時定路線	デマンド	計	1日あたり人数
計	61	155	216	0.6人/日

【令和3年度】 市負担額：14,445,200円

月	定時定路線	デマンド	計	1日あたり人数
計	167	232	399	1.1人/日

問1 あなた自身のことについてお尋ねします。

問1-1. あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない

問1-2. あなたの年齢を教えてください。

1. 18歳未満 2. 18歳～64歳 3. 65歳以上

問2 スワン号の利用状況等についてお尋ねします。

問2-1. あなたはスワン号をご存知ですか。

1. 知らない(→問2-3へ) 2. 名前だけは知っている 3. 運行内容も知っている

問2-2. スワン号を今までにご利用したことがあるか教えてください。

1. ある (→問2-4～2-6へ) 2. ない (→問2-7へ)

問2-3. (問2-1で1.「知らない」と回答した方へ)

スワン号の運行情報等について、知りたいと思いますか。

1. 知りたい 2. 知りたいと思わない

問2-4. (問2-2で1.「ある」と回答した方へ)

スワン号の利用目的を教えてください(複数回答可)。

1. 病院への通院 2. 買い物 3. 鉄道駅への移動
4. 公共施設への移動 5. その他()

問2-5. (問2-2で1.「ある」と回答した方へ)
主な乗車場所、降車場所を教えてください〔 ()内に記入してください。〕。

乗車場所 ()
降車場所 ()

問2-6. (問2-2で1.「ある」と回答した方へ)
スワン号の満足度について教えてください。

1. 大変満足している
2. まあまあ満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問2-7. (問2-2で2.「ない」と回答した方へ)
スワン号を利用しない理由について、ご自身の考えと一番近いものをお選びください。

1. 前もって電話予約するのに手間がかかる
2. 乗降場所が自宅から遠い
3. 目的地がスワン号の運行範囲外である
4. 他の移動手段をもっている
5. その他()

問3 スワン号の今後の運行方法についてお尋ねします。

問3-1. スワン号の今後の運行について、ご自身のお考えに一番近いものをお選びください。

1. このままの運行方法を継続して、様子を見たほうがいい
2. フルデマンド型の運行方法に変更したほうがいい
3. 定時定路線型・デマンド型運行以外の方法に変更したほうがいい
(タクシー利用補助券の配布等)
4. その他

☆フルデマンド型とは… 従来の「デマンド型」の運行方式を見直したもので、「バス停」⇔「バス停」の移動ではなく、「自宅」⇔「バス停(共通乗降所)」の運行となります。共通乗降所については、鉄道駅、医療施設、主要公共施設等を想定しております。

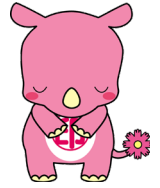
ご利用の際は、事前にお名前、ご自宅の位置情報等の利用登録申請を市に行ったうえで、電話予約をする形となります。なお、フルデマンド型についても、他の利用者との乗り合いとなります。

☆タクシー利用補助券とは… タクシーをご利用の際に、運転手に利用券を渡すことで、乗車料金の一部を市から助成する仕組みです。現在、障がい者の方や要介護者の方を対象に行っている「福祉タクシー事業」と同様に、本埜第二小学校周辺地域の住民の方を対象にタクシー利用額の助成を行うものです。

自由意見欄

Blank area for free comments with horizontal dashed lines.

ご協力ありがとうございました。



スワン号(乗合タクシー)に関する

アンケート

報告書

令和5年3月

一区、二区、三区、酒直卜杭
安食卜杭、将監、和区
印西市企画財政部交通政策課

調査の概要

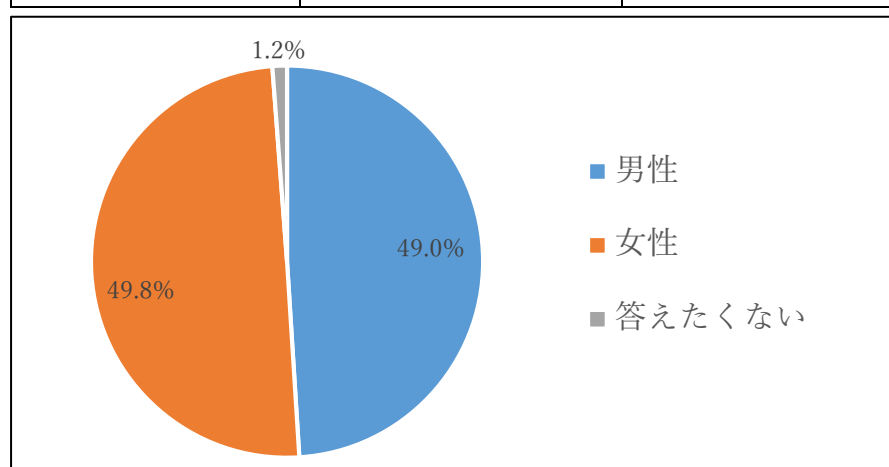
スワン号の見直しの方向性について参考とするためのアンケート調査の集計が終了しましたので、以下の通り報告させていただきます。

項目	概要
対象者	本埜第二小学校周辺地域（一区・二区・三区・酒直ト杭・安食ト杭・将監・和区）の町内会加入者
回収率等	回収率 61.9% 配布数：924 回収数：572
調査方法	各地区区長様を通じて配布・回収
配布回収時期	配布時期：令和5年2月初め 回収時期：令和5年2月末
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・回答者の属性・スワン号の認知状況、利用状況、満足度等・スワン号の今後の運行方法

問1 アンケート回答者の属性

問1-1. あなたの性別を教えてください。

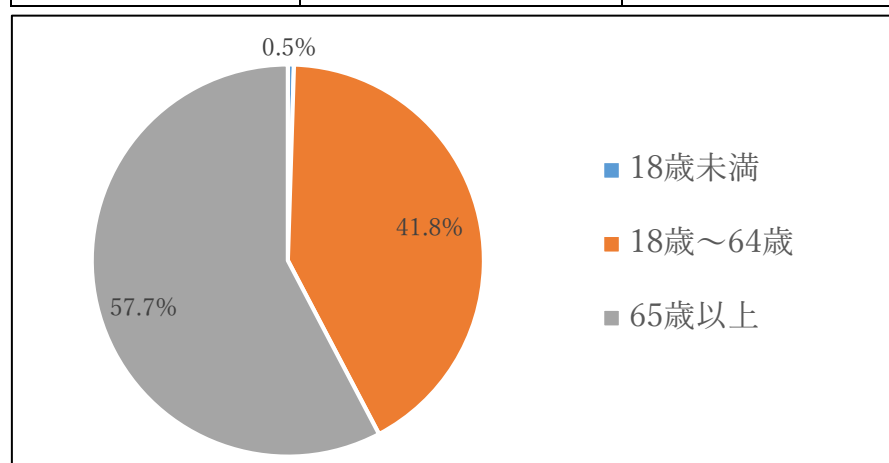
	回答数	割合
男性	280	49.0%
女性	285	49.8%
答えたくない	7	1.2%
合計	572	—



問1-2. あなたの年齢を教えてください。

・アンケート回答者については、「18歳未満」が3人、「18歳～64歳」が239人、「65歳以上」が330人と「65歳以上」が過半数を占めた。

	回答数	割合
18歳未満	3	0.5%
18歳～64歳	239	41.8%
65歳以上	330	57.7%
合計	572	—

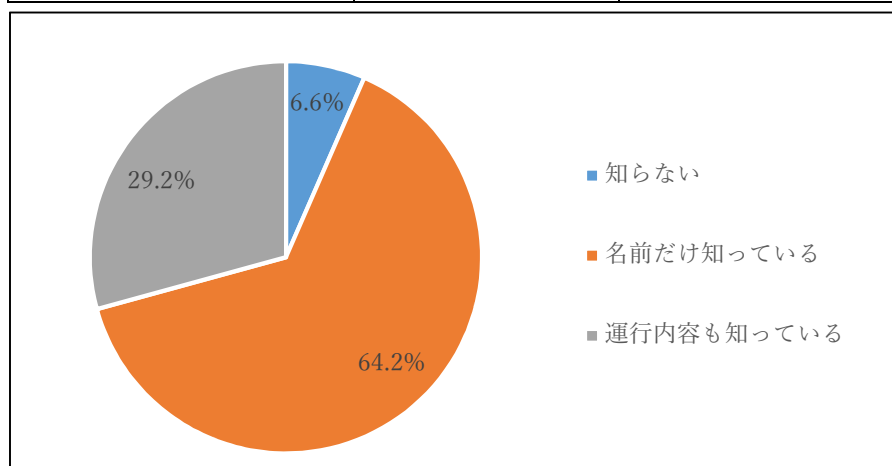


問2 スワン号の利用状況等について

問2-1. あなたはスワン号をご存知ですか。

・「知らない」が最も少なく、「名前だけ知っている」が全体の約7割を占めた。

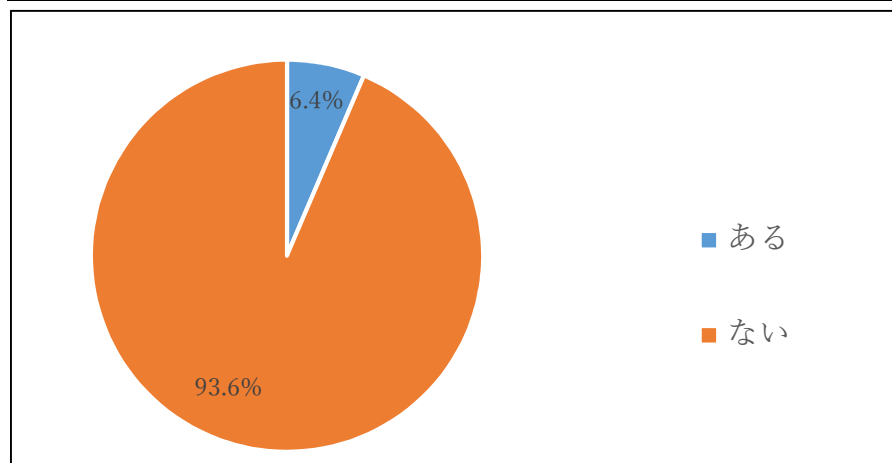
	回答数	割合
知らない	37	6.6%
名前だけ知っている	362	64.2%
運行内容も知っている	165	29.2%
合計	564	—



問2-2. スワン号を今までにご利用したことがあるか教えてください。

・「ある」が6%にとどまり、「ない」が93.6%という結果となった。

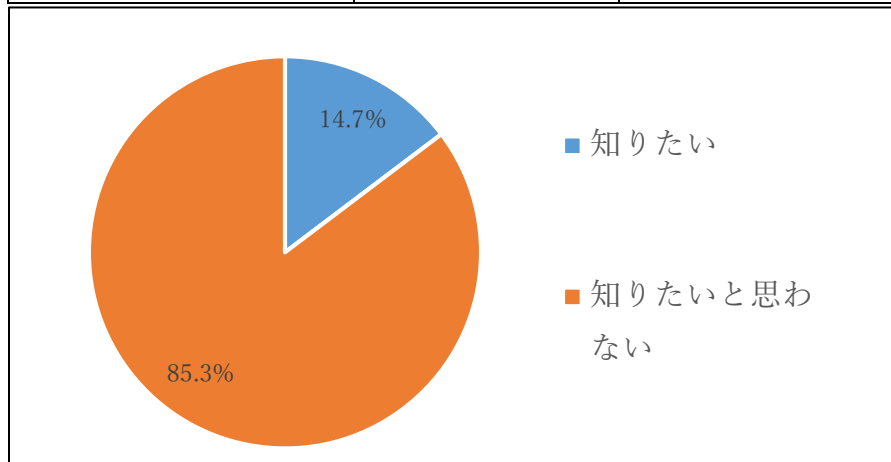
	回答数	割合
ある	36	6.4%
ない	524	93.6%
合計	560	—



問2-3. (問2-1で1.「知らない」と回答した方へ)
スワン号の運行情報等について、知りたいと思いますか。

・「知りたいと思わない」が「知りたい」を上回り、約85%の結果となった。

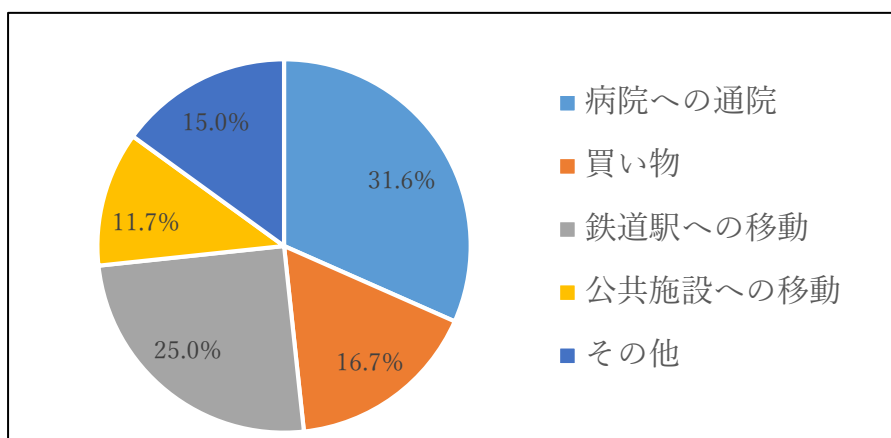
	回答数	割合
知りたい	5	14.7%
知りたいと思わない	29	85.3%
合計	34	—



問2-4. (問2-2で1.「ある」と回答した方へ)
スワン号の利用目的を教えてください(複数回答可)。

・利用目的としては、「病院への通院」が最も多かった。「その他」の内容としては、大半が「通勤のため」といった内容だった。

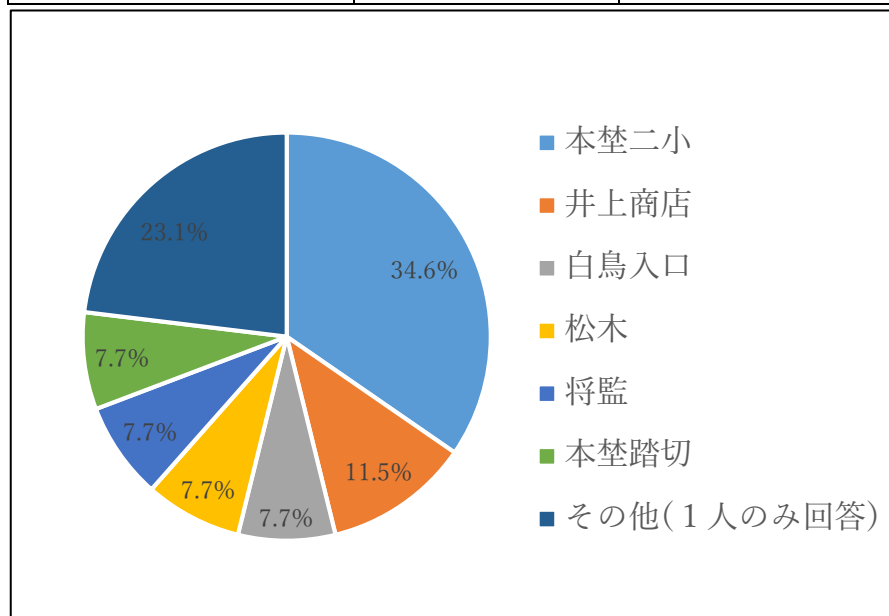
	回答数	割合
病院への通院	19	31.6%
買い物	10	16.7%
鉄道駅への移動	15	25.0%
公共施設への移動	7	11.7%
その他	9	15.0%
合計	60	—



**問2-5. (問2-2で1.「ある」と回答した方へ)
主な乗車場所を教えてください。**

・乗車場所については、「本埜二小」が一番多い回答数となった。

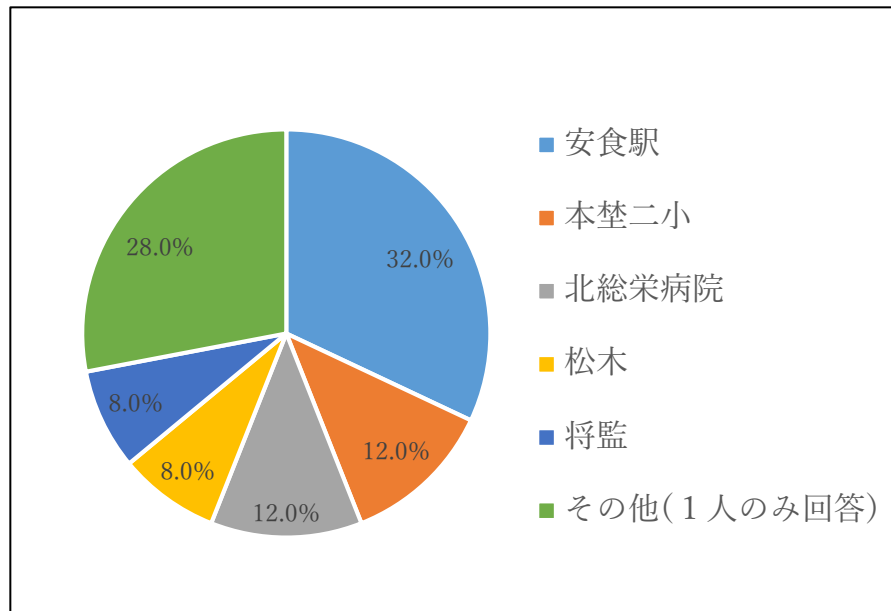
多い順	回答数	割合
本埜二小	9	34.6%
井上商店	3	11.5%
白鳥入口	2	7.7%
松木	2	7.7%
将監	2	7.7%
本埜踏切	2	7.7%
その他(1人のみ回答)	6	23.1%
合計	26	—



**問2-5. (問2-2で1.「ある」と回答した方へ)
主な降車場所を教えてください。**

・「安食駅」が最も多く、「本埜二小」及び通院先の「北総栄病院」が次に多かった。

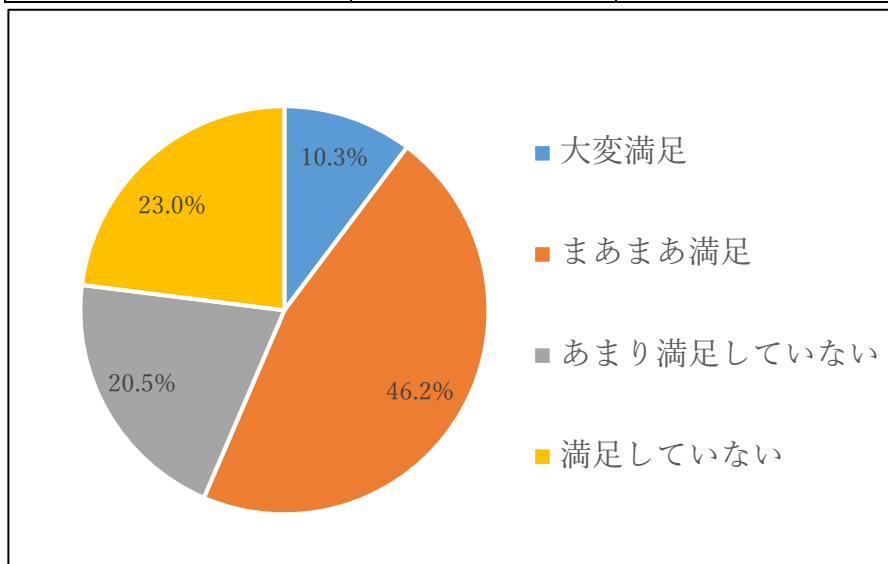
多い順	回答数	割合
安食駅	8	32.0%
本埜二小	3	12.0%
北総栄病院	3	12.0%
松木	2	8.0%
将監	2	8.0%
その他(1人のみ回答)	7	28.0%
合計	25	—



**問2-6. (問2-2で1.「ある」と回答した方へ)
スワン号の満足度について教えてください。**

・利用されている方からの回答としては、「まあまあ満足」が約半数となった。

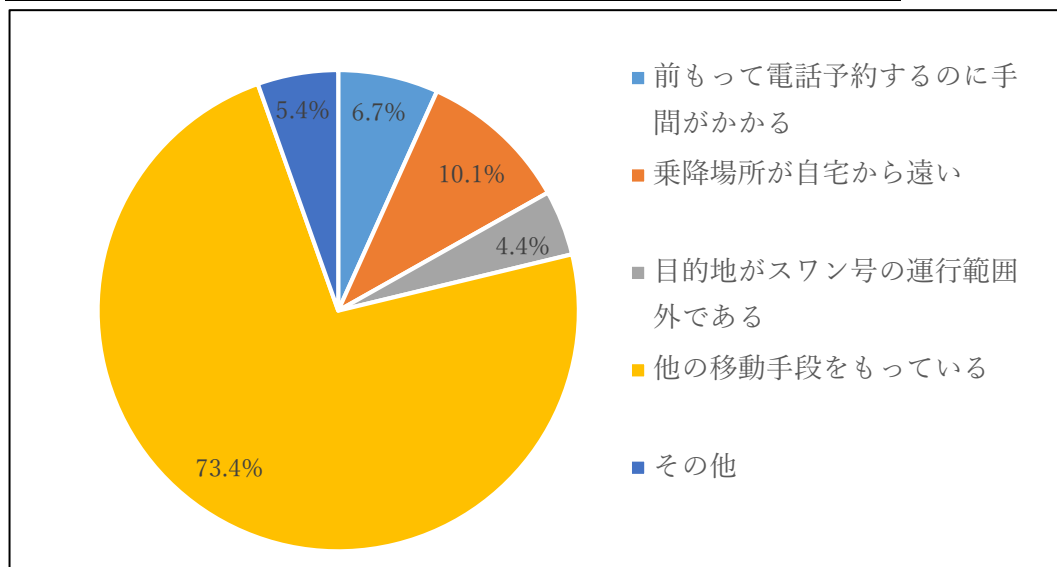
	回答数	割合
大変満足	4	10.3%
まあまあ満足	18	46.2%
あまり満足していない	8	20.5%
満足していない	9	23.0%
合計	39	—



問2-7. (問2-2で2.「ない」と回答した方へ)
スワン号を利用しない理由について、ご自身の考えと一番近いものをお選びください。

- ・「他の移動手段をもっている」方が全体の7割を超えた。
- ・「その他」の内容としては、「自家用車所有」という回答が多く、「利用したい時間帯と合わない」といった回答も何件かあった。

	回答数	割合
前もって電話予約するのに手間がかかる	36	6.7%
乗降場所が自宅から遠い	54	10.1%
目的地がスワン号の運行範囲外である	23	4.4%
他の移動手段をもっている	392	73.4%
その他	29	5.4%
合計	534	—



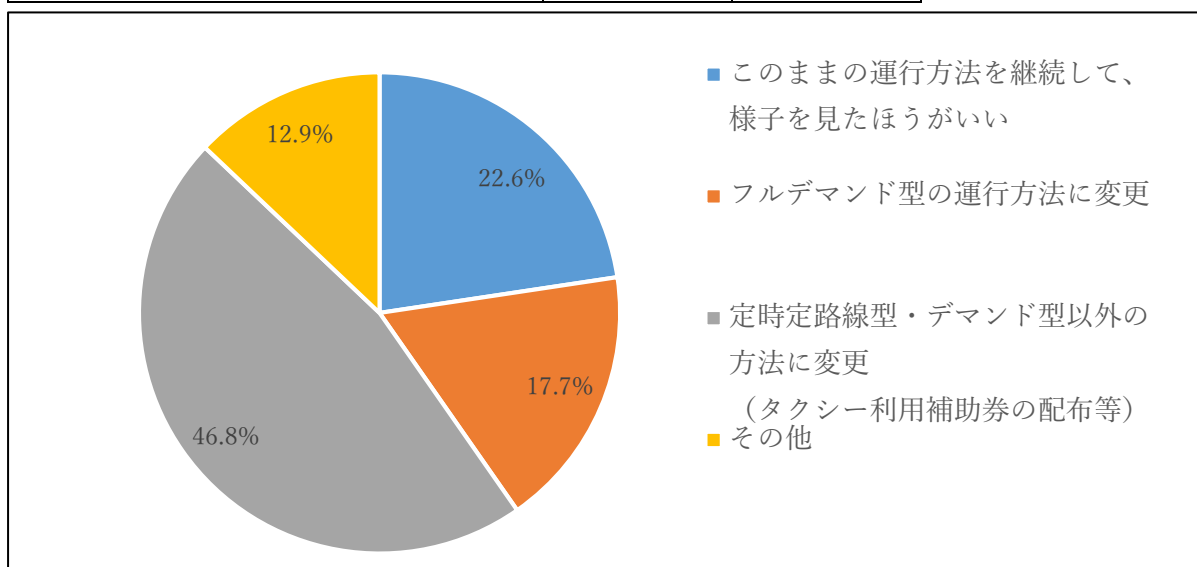
問3 スワン号の今後の運行の方向性について

問3-1. スワン号の今後の運行について、ご自身のお考えに一番近いものをお選びください。

・一番多かったのは「定時定路線・フルデマンド以外の方法に変更した方がいい」で 46.8%、次に「このままの運行方法を継続して様子みる」で 22.6%、「フルデマンド型の運行方法に変更した方がいい」は 17.7%、「その他」については 12.9%という結果となった。

・「その他」の内容については、自由意見欄で現在の運行方法はやめた方がいいといった意見、より費用対効果が出る方法へ見直した方が良いという意見が多かった。

	回答数	割合
このままの運行方法を継続して様子みる	119	22.6%
フルデマンド型の運行方法に変更	93	17.7%
定時定路線型・デマンド型以外の方法に変更 (タクシー利用補助券の配布等)	246	46.8%
その他	68	12.9%
合計	526	—



自由意見について

- ・フルデマンド型運行が良いと思います。必ず不満が出てくると思いますが、これ以上の案は中々でて来ないと思います。
- ・私は普段印西牧の原駅を利用しています。また、仕事も時間がきまっておらず普段使ってみたくても使えない現状です。印西市内で使えるようであればタクシー利用補助券の方が使いやすいと思っています。
- ・あまり利用されている方がいないように見られます。市の税金の無駄使いだと思
- ・今後はますます高齢者が増え自分が使いたいときにタクシーで利用できれば良いと思います。人それぞれの利用法が違うのですから。
- ・夜などすれ違う時にこわい。色が黒いので変えた方が良い
- ・スワン号の色が暗いので遠くから見にくい。スワン号と名前つけるなら白色の方が良いのではないのでしょうか？ちなみにルート外でするので利用しません。
- ・デマンド型が増えている事、乗車人数を考え合わせると、タクシーに家の前まできてもらう方式に変える方法がよいと思う(利用券でも、フルデマンドでも) 現在のままで行くのであれば、運行通路をもう少し細かく、広くし、途中下車もありにするのが良いと思う。(例えば、栄町のマルエツや北総栄病院の方をまわるなど)買い物、病院は高齢者には必要
- ・一人当たり6万、もう少し考えたい！
- ・現在は自家用車で移動しているが、後期高齢者なので免許返納も常に頭にあり、そうなると移動手段がなくなってしまうと思われるのでぜひ継続してほしいと思っている。
- ・運賃高すぎ
- ・一律 300 円は高い。距離によって少し変えた方が良いのでは？
- ・出発時間が電車の発車時間と近く使いづらい
- ・安食ト杭コースで運転手のマナーに迷惑を感じています。何度か役場に電話でコースの変更または運転手の変更を願いましたが、変化の無いままでしたので、この度は強く抗議させていただきます。予算の問題よりも、平日安食ト杭コースの運転手の横柄な態度に毎日悩まされています。コースの変更による事業の継続なら容認できますが、おなじ安食ト杭コースの運転手の継続なら、抗議いたします、2年間近くスワン号の運転手問題に家族で悩まされているので、ご検討のほど宜しくお願いします。
- ・運行を止めてほしい。理由は中学校登校中に避けてくれなかったり、スピードが結構でていて危ない、よけているのにスピードを落とさないのは危ないから止めてほしい。このような理由から登下校中に危ないのでとりやめてほしいと思います。
- ・スワン号に人が乗っているのを見たことがない。朝、夕1往復だけで何のための運行か意味がわかりません。また、1台しか通れない道にもかかわらず、あいさつもなく譲る気もない運転では、納得がいきません。税金の使い方をもっと考えてほしいと思います。
- ・運転手の態度が悪いので運行をやめてほしい。運転マナーが悪く、走っているのを見るだけで気分が悪い。宅配の人にも迷惑をかける運転をしている。この先も運行をつづけるのであれば、平日の運

転手を変えるか、態度を改めるように指導してほしい。スワン号に誰かが乗っているのを見たことがない。税金のムダな気もする。ムダに税金を使って、いやな思いをさせられるなら、スワン号は廃止でいいと思う。

・バス停までの距離が遠すぎる。

・やめれば

・フルデマンド型とタクシー等利用補助券の二刀流、自動車免許返納者に対してタクシー等利用補助券の交付

・印西病院、印西牧の原駅、マルエツ・ヤオコーまでの買い物など行けるといいです。

・1. 定時運行を継続するなら、もっと早いまたは遅い時間が良い。2. 大型バスを運行出来るようにし、それに対応したバスを整備してほしい。

・1. 今まで乗車している人を見た事がないので、現状は必要ないと思う。経費の無駄だと思う。ただ利用したいと思っている人は、少なからずいると思うのでタクシーを呼び利用できるようにし、市が補助金を出せばいいと思う。2. 今後は(5年後、10年後)状況が変わると思うので、その時に運用方法を替えばいい。(免許返納者が増える)

・今はまだ車に乗る事が出来ませんが、もう免許証を返納する年になりました。車に乗らなくなったら、スワン号を利用するしかないと思いますので、続けて運行をしていただきたいと思います。

・スワン号の運行については、現在いつ見かけても乗客が見当たらず市民としても心苦しい感があります。しかしながら、現在住んでいる所から考え、車が利用できなくなると生活に支障がでるのはあきらかです。何らかの手助けが欲しいと思いますが、正直どうすればスムーズかというのはわかりません。無駄なく、不便を感じずに生活するには今後も考えていきたいです。

・毎日見かけますが誰も乗っていません。1 千万円以上経費がかかっていると前から聞いていたので、もったいないいつも思っていました。又、運転手の方はよけていてあげても挨拶もしません。とても感じ悪いです。必要な方だけ電話で予約する簡単な方法で行った方が良くと思います。旧本埜地区では利用する人はいないと思います。それぞれの移動方法があるからです。

・1. 朝・夕と自宅の前を通るが運転マナーが悪い。2. いつも誰も乗っていない。3. 安食駅に行く用事はない。4. タクシー助成について(旧本埜二小付近だけが住民ではない!)5. 年間 1400 万円余りの予算、他に有効活用してほしい。(1日1人未満の利用はいかがなものか?)6. 龍腹寺(五十嵐花園)の交差点に信号を設置してほしい。バス路線を一つ廃止すれば可能と考える(本埜幼稚園の送迎危険)

・利用者が車に乗っているのを見たことがない。運転手の方がなにか気の毒に見える。スワン号の実績人数のデータは内容がよくわからない数値です。実際の利用状況の把握はどのようにしているのでしょうか。曜日毎、年令ごと、区画毎なのか調査対象に対する調べ方がたりていないと思われる。利用頻度をよく調べられていないのでしょうか。このアンケートにしたって、的を得ていないやり方に思う。他の他部署による調査や申請はスマホなどでできるようになっているのに比べるとなんと無駄なことかと。見直しの参考にするという表題の目的はどんなふうにして生まれたのか。利用者が少ない、必要か、

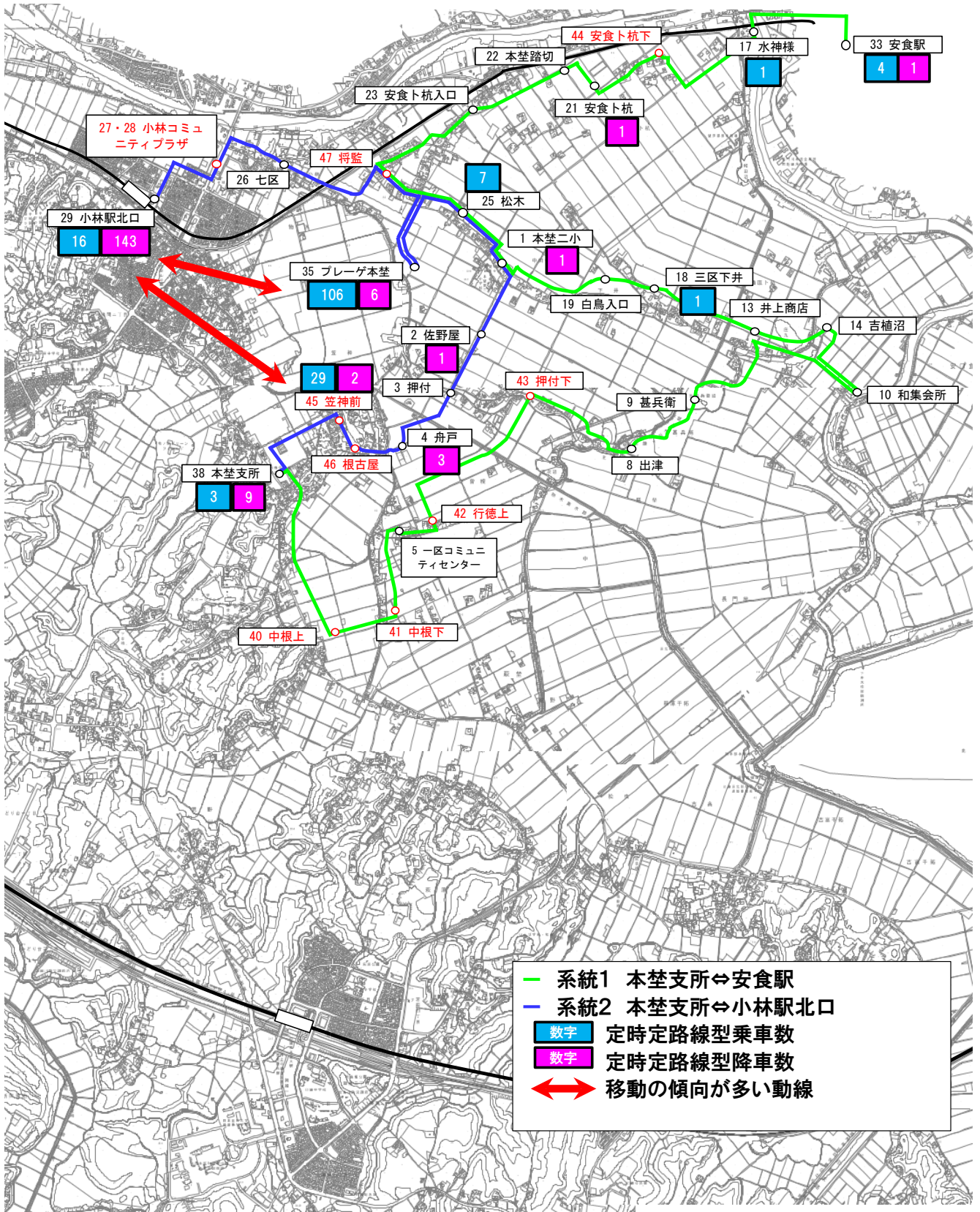
廃止か、存続方法について市役所の福祉、住民課他いろいろな課を横断した検討が必要。交通対策課だけで考えるのは地域の人に利便性が生まれない。

- ・朝の運行が早い。この寒さで待っている人はつらい。税金の無駄遣い。
 - ・行きはヒマワリのバスで帰りはタクシーを利用しているのでタクシー券があればありがたいです。日常の買い物は、生協(生活協同組合)の配達があるし、通販も利用しているので生活に困っていることはない。バスが増えたとしても、あまり乗らないと思います。図書館も遠くなってしまったが、需要があるところに供給がある。自然の流れで仕方がないと思っています。老人には厳しい時代ですが
 - ・紙の無駄と思います。
 - ・これを配布し、回収するのが大変でした。まだ、車を運転できるので、スワン号は利用しませんが、20年くらいしたら必要かもしれません。萩野・桜野地区は第二学区ではないのでこのアンケートは必要なかったです
 - ・バス停と時間を教えてほしい
 - ・利用者が一人で勿体ないと思う
 - ・1回あたりの利用額が相当高額なので、費用対効果がしっかりでる形が良いと思う
 - ・バス停に問題があります。バス停まで遠い場所が危険な所など
 - ・定時定路線の乗車数がわからないので、少ないなら見直しが必要であると考え。日中のデマンドはもっと対応できる様本数の見直しをしてほしい。(病院での往復で使用したが非常に時間に気を使った為)
 - ・ほとんどバスを利用している人を見ることがないので、中止しても良いと感じます。移動手段がない方にスポットを当てて別の方法を考えるべきだと思います。運賃も安くして利用する人を増やすべき。
 - ・ボランティアタクシー 定期・デマンド共に利用者が少ないのである範囲の中にボランティアタクシー制度を構築してみてもどうか。
 - ・本数が少ないため、利用するのが不便。
 - ・不要
 - ・まだ自力で移動しておりますが、この先年を重ねていく上でスワン号のサービスは必要となってくるものと思われます。今後利用する事も出てくると思いますので、こういうサービスはありがたいと思っています。
 - ・利用したことがないので、今のところは何とも言えません。
- スワン号と言いつつ、なぜ黒色なのですか？暗くなってくると目立ちにくくなります。車を使っていますが怖く思えることもあります。人通りも多くないですが、すれ違った時など速度も少し速く思えます。(私の感想です)
- 本埜の白鳥はコハク・オオハクチョウが来ますが、ほとんどがコハクチョウのはずでは？コブハクチョウは留鳥です。スワン号はどちらですか？(つまらない質問だったらすみません)
- ・私もまだ利用した事がないのですが、利用してみたいと思います。やはりこれから必要になってくると思います。今も必要だとは思いますが、

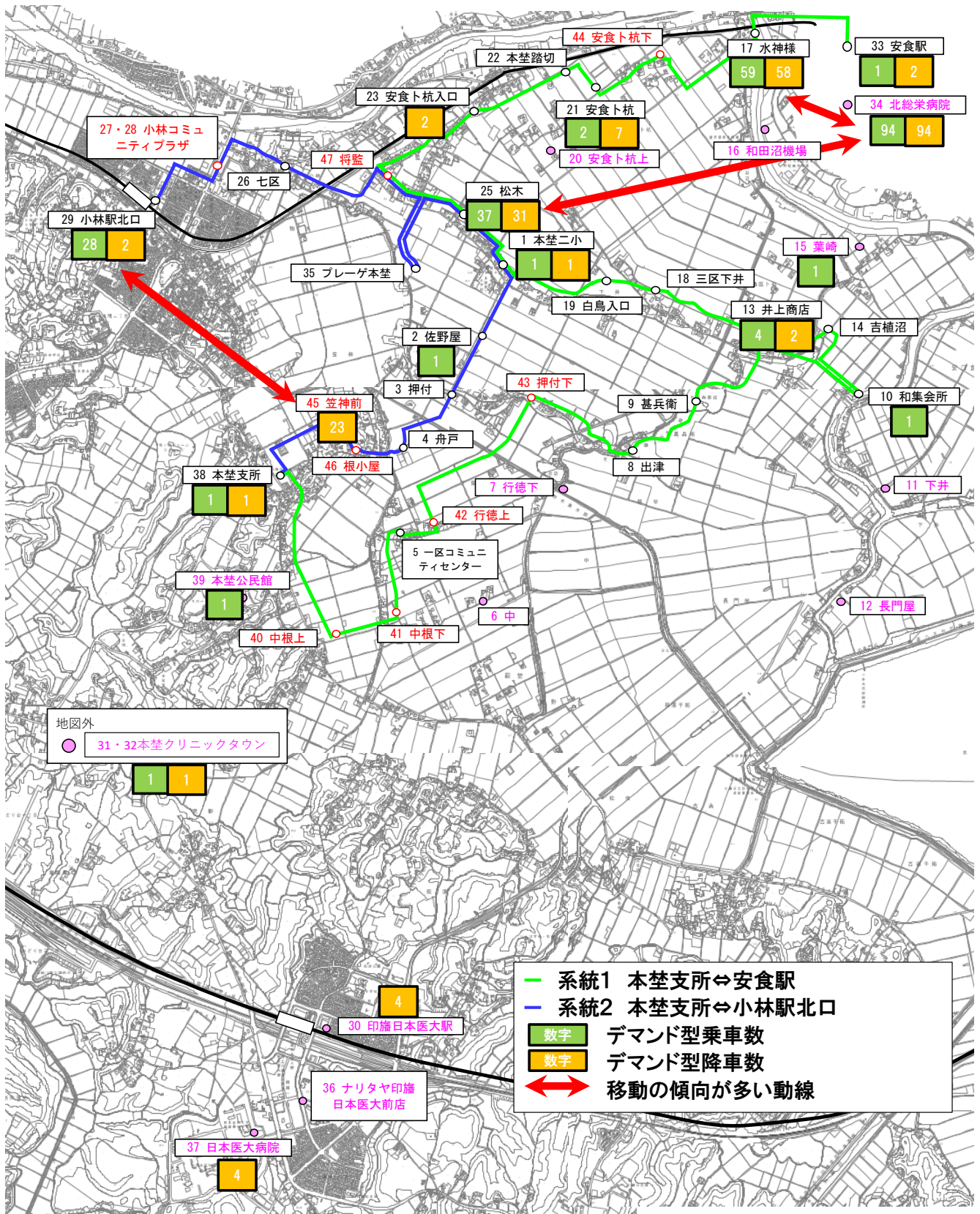
- ・印旛日本医大、牧の原駅に行くようになるのも便利 中学生の学区外通学も増えているため、通学時間帯の便があればもっと良いのでは
- ・牧の原駅にも行ってほしい、小林中滝野中にも運行してほしい
- ・今まで利用者を見たことがない、無駄遣いをもっと早くきづくべきでは
- ・運転手さんがいい方 できれば今後も続けてほしい
- ・牧の原駅方面への新設をしてほしい、JR 線の本数を1つ減らしても 運行の方面や時間についてアンケートを取ったらどうか。運行会社や利用者ともに良い運行方法をお願いしたい
- ・運転マナーが悪い。曲がり角付近では気をつけてほしい、危険を感じる。必要とする時間に運行していないので不便
- ・タクシー利用補助券の配布を希望します。(他4件 同一の回答)
- ・自動車が運転できないと生活できない地域、しかし高齢や病気で運転ができなくなるとどうしたらよいか？というタクシーの補助が助かります。小林駅には、タクシーがいません。本埜地区の人達が呼べるタクシーを確保していただきたいと思います。高齢者が無理をして運転して事故をおこしたりしない様、時間に関係ないタクシーを希望します。
- ・以下4点 1. ドライバーの運転スピードが速い。2. 時として道を譲ってくれないときがある。3. 空車で走行しているタクシーの維持管理費用が他のサービスに移行しても良いと思います。4. スクラップ&ビルズ
- ・無駄になる費用をかけるなら乗合という考えではなく、すべての住民にタクシーの利用券を配布する。
- ・今まだ一人で行動できますが、この先運転が出来なくなった時考えるとバスの運行は必要と思いますし、タクシー券も一回1枚とのこと、やはり先の事を考えるとバスもありがたいと思います。
- ・必要な時にタクシー券を使用し補助することで十分である。利用者の利点は、自宅と目的地の利用で無駄がない。・印西市としても予算減になる。・車が使用できない独居老人・障がい者等の移動困難者に補助額を全額、印西市が補助しても良いのではないか。
- ・負担額が大きい割に利用客が少ない(1日平均2人に満たない)のがもったいないですね。自宅から目的場所へタクシー等(のりあいでも可)で行き来でき、補助金が出る形が良いのでは。難しいとは思いますが、できるだけ多くの人を利用できる形を探してほしいです。
- ・印西牧の原行きを作ってみてはどうか。通学の足に使うのであれば、中学校(近くでも)に停留所をおいてみたらどうか。
- ・数がすくない
- ・経費負担についてはもったいないと思う。良策頼む
- ・1400万は勿体ない、平均1人の利用でざんねんです
- ・目的地までいくのに乗換などで時間がかかりすぎると思う 運賃も定期便高い
- ・住民の中には車を乗れない方もいると思うので、コミュニティバスは続行してください。これからも運営費等かかるとは思いますが……。
- ・数がすくない

- ・通勤通学の時間帯の運行を増やすと良い。6:30~7:00位の電車に合わせて運行すればもっと利用しやすくなると思う。
- ・今は運転できますが、車を運転できなくなった時にとっても不便を感じます。将来も気軽に利用できるバス(タクシー)があると良いと思います。
- ・スワン号をよく見かけるが乗っている人を見たことが無い。自宅から乗降場所までが遠い、歩いて行けない。スワン号の見た目が黒で印象が悪い(成田みたいな青っぽく子供うけするようなキャラクターうなり君みたいな外観の方が良い)

参考資料:スワン号(定時定路線)バス停乗降者数状況(令和3年)



参考資料:スワン号(デマンド型)バス停乗降者数状況(令和3年)



定時定路線

	令和2年		令和3年	
	朝便	夕便	朝便	夕便
1便 本埜支所-安食駅	4	6	1	1
2便 安食駅-本埜支所	0	0	1	3
3便 本埜支所-小林駅	37	1	55	87
4便 小林駅-本埜支所	6	7	12	7
合計	47	14	69	98

- 朝便 1便 6:55-7:27
- 朝便 2便 7:42-8:14
- 朝便 3便 8:34-8:50
- 朝便 4便 9:05-9:21
- 夕便 1便 16:15-16:47
- 夕便 2便 16:52-17:24
- 夕便 3便 17:48-18:04
- 夕便 4便 18:19-18:35

年度	月	令和2年				令和3年		
		便	朝便	夕便	計	朝便	夕便	計
4月	1便	0	0	0	0	0	0	0
	2便	0	0	0	0	0	0	0
	3便	3	0	3	5	0	5	
	4便	0	0	0	1	0	1	
	計	3	0	3	6	0	6	
5月	1便	0	0	0	1	0	1	
	2便	0	0	0	0	0	0	
	3便	3	0	3	7	0	7	
	4便	0	1	1	2	1	3	
	計	3	1	4	10	1	11	
6月	1便	0	0	0	0	0	0	
	2便	0	0	0	0	0	0	
	3便	1	0	1	5	0	5	
	4便	1	0	1	1	2	3	
	計	2	0	2	6	2	8	
7月	1便	2	0	2	0	0	0	
	2便	0	0	0	0	0	0	
	3便	3	0	3	5	0	5	
	4便	0	0	0	0	0	0	
	計	5	0	5	5	0	5	
8月	1便	0	2	2	0	0	0	
	2便	0	0	0	0	0	0	
	3便	2	0	2	5	0	5	
	4便	0	0	0	0	1	1	
	計	2	2	4	5	1	6	
9月	1便	1	0	1	0	0	0	
	2便	0	0	0	0	1	1	
	3便	7	0	7	6	2	8	
	4便	1	0	1	0	0	0	
	計	9	0	9	6	3	9	
10月	1便	0	0	0	0	0	0	
	2便	0	0	0	0	0	0	
	3便	2	0	2	5	19	24	
	4便	0	0	0	0	1	1	
	計	2	0	2	5	20	25	
11月	1便	0	0	0	0	0	0	
	2便	0	0	0	0	0	0	
	3便	3	0	3	0	25	25	
	4便	0	2	2	0	0	0	
	計	3	2	5	0	25	25	
12月	1便	0	0	0	0	0	0	
	2便	0	0	0	1	1	2	
	3便	4	0	4	7	22	29	
	4便	0	0	0	0	1	1	
	計	4	0	4	8	24	32	
1月	1便	1	4	5	0	0	0	
	2便	0	0	0	0	0	0	
	3便	3	1	4	0	4	4	
	4便	0	0	0	2	1	3	
	計	4	5	9	2	5	7	
2月	1便	0	0	0	0	1	1	
	2便	0	0	0	0	0	0	
	3便	3	0	3	4	15	19	
	4便	2	2	4	5	0	5	
	計	5	2	7	9	16	25	
3月	1便	0	0	0	0	0	0	
	2便	0	0	0	0	1	1	
	3便	3	0	3	6	0	6	
	4便	2	2	4	1	0	1	
	計	5	2	7	7	1	8	

デマンド

	令和2年	令和3年
1便(10時～)	74	105
2便(11時半～)	72	95
3便(13時半～)	2	7
4便(15時～)	7	25
合計	155	232

月	便	令和2年	令和3年
4月	1便	1	10
	2便	0	8
	3便	0	0
	4便	0	2
	計	1	20
5月	1便	3	8
	2便	3	10
	3便	0	0
	4便	0	4
	計	6	22
6月	1便	2	7
	2便	1	6
	3便	0	1
	4便	0	2
	計	3	16
7月	1便	3	9
	2便	2	7
	3便	0	0
	4便	0	2
	計	5	18
8月	1便	2	9
	2便	5	9
	3便	0	0
	4便	0	1
	計	7	19
9月	1便	7	11
	2便	3	11
	3便	1	0
	4便	0	6
	計	11	28
10月	1便	6	8
	2便	5	6
	3便	0	0
	4便	0	1
	計	11	15
11月	1便	11	11
	2便	12	8
	3便	0	1
	4便	1	2
	計	24	22
12月	1便	11	8
	2便	11	7
	3便	1	2
	4便	0	0
	計	23	17
1月	1便	15	12
	2便	16	9
	3便	0	0
	4便	4	0
	計	35	21
2月	1便	4	6
	2便	4	6
	3便	0	0
	4便	2	5
	計	10	17
3月	1便	9	6
	2便	10	8
	3便	0	3
	4便	0	0
	計	19	17

スワン号実証運行の総括について(案)

■これまでの経緯

○平成30年12月1日

交通不便地域である旧本埜第二小学校周辺地域への対応として、定時定路線型とデマンド型の併用による乗合タクシー「スワン号」の実証運行開始

○令和元年10月1日

実証運行の課題等を踏まえ、見直しを実施

- ・利用者増を目指し、定時定路線型のルート変更及びダイヤ改正、デマンド型を1日3便から4便に増便
- ・旧本埜第二小学校周辺地域での乗車または降車が必要とする利用条件を撤廃

○令和2年2月以降

新型コロナウイルス感染症の流行により、公共交通の利用者が激減した時期が続いた。

■現状

- ・利用者数については、1日あたり約1人の利用と、非常に少ない状況である。
- ・地域の方に対して実施したアンケート調査の結果としては、現時点では他の移動手段をもっている方が大半となっており、今後の運行についての設問では、「定時定路線型・デマンド型運行以外の方法に変更した方がいい」という回答が46.8%と一番多かった。

■今後の方針(案)

- ・より費用対効果の良い交通不便地域の新たな対応策について、今後の地域公共交通会議において提案し、検討していく。
- ・スワン号の実証運行については、令和5年9月30日を目途に、新たな対応策の決定及び実施を以て、休止とする。